

高齢者にもっとほっとする家を！ 子どもにもっと緑を！



民主・区民会議

松田 哲也 議員

<財政計画> 目黒区は、区民一人当たりの借金は24万円(23区中でワースト1位)、貯金は9万円(23区中でワースト5位)である。起債償還や財政調整基金等積立の中長期計画を早急に立てよ。

区長 公債費比率は現在11.7%だが、起債の償還が順次終了するため、平成24年度には適正值上限の10%を下回る見込みである。行財政改革への取り組みを強化し、財政調整基金等の残高の早期回復に努め、財政基盤強化を図っていく。

<高齢者住居支援> (1)区が運営する高齢者住宅の供給が進まない。国や東京都から補助金が出る民間の高齢者向け優良賃貸住宅、高齢者専用賃貸住宅を誘致する政策に転換せよ。(2)家賃助成を5年間で打ち切るのは合理的根拠がない。要件を緩和し、利用拡大を図れ。

区長 (1)高齢者福祉住宅の借上期間の継続等や、高齢者向け優良賃貸住宅の新たな事業実施者の募集等に努めていく。(2)家賃助成は、住宅政策審議会での議論を進めており、目黒住宅マスタープランの改定に合わせて見直しを行っていく。

<太陽光と緑> (1)積載基準から算定しても、本庁舎屋上には太陽光パネル100枚以上の設置が可能だ。なぜ、設置しないのか。(2)子どもが地域の人たちと植樹(自生の木)をし、心と時間を繋ぎ紡ぐ取り組みをすべきだ。豊島区は、全小中学校で1万本の植樹をしている。

区長 (1)本庁舎屋上は、積載荷重の許容量が95%に達しており、設置は難しい状況だ。技術革新もあり、調査・研究に努めていく。(2)イベント開催時の苗木配布等で、引き続き区民の自主的な植樹運動を支援していく。